海外発注可　納期相談　企画力自信有　コスト相談　オンリーワン技術　メイドインジャパン　試作可小ロット　量産対応

トワロン 株式会社

高機能樹脂を採用し完全接着製法で高耐久性を実現したIR被覆鉄線

同社のワイヤを使用した敷き網。高尺ネット、防球ネット、落石防止網等、使用用途は多岐にわたる

公共土木の現場をはじめあらゆるシーンで活躍

私達の生活に密着したさまざまな被覆ワイヤを専門に開発しているのが、トワロンだ。文具やハンガー、園芸用支柱といった身近な日用品からネットフェンスのひし形金網、また土木用途などに多く使用される高耐久被覆ワイヤまで、同社の製品群は実に多岐にわたり、その活躍の場を着実に広げ続けている。

同社の看板製品であり、2010年に財団法人土木研究センターが認定した建設技術審査証明書を取得したのが、『IR被覆鉄線』だ。これはJIS規格に適合する亜鉛めっき鉄線3種に接着性樹脂を塗布し、アイオノマー（IR）樹脂をコーティングしたオリジナルの線材。IR被膜と心材を強力接着させることにより、空気や水分を完全に遮断して心材を保護している。そのため、海岸や離島、融雪剤使用地域や温泉地といった特殊な環境においても抜群の耐久性を発揮するのが最大の特長。脱塩ビで環境にも優しく、ツヤのある美しい被膜で自然環境との調和・美観保護にも貢献している。また、特筆すべきなのがその優れた耐寒性。アイゾット衝撃試験においては、マイナス30度の環境でも常温時と同等の耐衝撃性を有しており、豪雪地帯の使用などにも最適だ。

環境に優しいHDPE（高密度ポリエチレン）ワイヤを使ったクリップ

2002年日韓W杯のスタジアム警備にも貢献

国土交通省管轄エリアのかごマットや落石防護網、日本道路公団の落下物防止柵や立入防止柵、各地方団体の落石防止網、空港の場周柵など、同社のIR被覆鉄線は実にさまざまな施工現場で使用されていることからも、その実用性の高さがうかがえる。2002年に開催された日韓共催のワールドカップでは、神戸ウィングスタジアムを含め全10会場のセキュリティフェンスに採用され、フーリガン対策にも一役買ったのだとか。社長の藤本貴美嘉さんはこう語る。「IR被覆鉄線は、公的機関からオフィシャルにその高品質を証明していただきました。今後もより良い製品の開発に従事するのはもちろん、既製品に関してもコストの再検討など、あらゆる角度から総合的な見直しをはかっていきます。国内のみにとどまらず、海外の技術やニーズもしっかりと調査し、さらなる顧客満足に寄与するのが私達の使命だと考えています」

2010年に会社創立75周年という節目の年を迎えた同社。「これまでに培った信頼と実績をベースに、海外進出を含め、新しい事業領域を今後も積極的に開拓していきたい」。そう語る藤本社長の瞳の輝きが印象的だった。

Company Profile

トワロン株式会社

ISO 9001　大阪22

住　所　〒592-8331
堺市西区築港新町2-6-13
TEL　072-245-6500
FAX　072-245-7324
創　業　昭和10年2月
資本金　4,800万円
従業員　28名
代表取締役社長　藤本 貴美嘉

■主な事業内容
合成樹脂被覆鉄線製造

■主な取引先
鉄鋼製品専門商社、線材加工製造会社、建材製造会社　等

http://www.towaron.co.jp

他社には負けない　当社のものづくりセールスポイント

環境問題にも真摯に向き合い社会発展への貢献をめざします

代表取締役社長　藤本 貴美嘉 さん

21世紀の企業運営に必要不可欠な『4R』を実施し、省力化、省資源化、リサイクル事業に注力して循環器型社会の一翼を担います。また新しいアイデアの模索に社員一丸となって取り組み、より社会に貢献する企業へ成長を遂げたいと考えています。